

令和5年度 壬生中学校 学校運営協議会（第3回）

議 事 録

令和5年12月7日（木） 12：30～14：15

壬生町立壬生中学校 会議室

【開 会】

1 ごあいさつ(会長)

- ・日常が戻りつつありますが、感染症対応も続いています。
- ・学校運営協議会としても教育活動を支援していきましょう。

あいさつ(校長)

- ・学校運営協議会スタッフ皆さんのお力添えをどうぞ宜しくお願いします。

2 給食の会食

3 学校の現状や学校を取り巻く諸課題に係る協議(進行:会長)

(1)校内巡回(学校保健安全法施行規則に基づく安全点検)

【資料1】

- ・5校時：人権週間における全校道徳（各学級の様子）
～元気・やる気・笑顔が溢れる、いじめゼロの学校へ～

(2)壬生町部活動地域移行推進計画について

【資料2】

- ・貴重な地域人材の情報をお寄せください。
- ・子どもの心を汲んで心健やかに育ててくださる方。
- ・保護者が部活動指導者となることは指導上の難しさがある。
- ・方針、ビジョンの明確化が大切。
- ・先生と地域指導者の連携がより一層大切になる。
- ・「地域指導者は特別な技術指導をしてくれる」という期待が寄せられてハードルが高くなる可能性がある。

(3)新たな制服導入の進捗状況について

【資料3】

- ・12/14(木)第2回制服デザイン選定委員会を開催予定
- ・第2回制服デザイン展示のコンセプトについて。

(4)校則の見直しについて

【資料4】

- ・見直し項目（学用品や持ち物について）
- ・「（携帯電話の持ち込む際の）やむを得ない状況」とは何かについて、保護者に明記していただくことが大切。
- ・学校で預かっている際の故障については、学校は責任を負えないことを明記し、保護者の理解を得る必要がある。
- ・高等学校でも同様の取組を行っている。

4 今後の予定

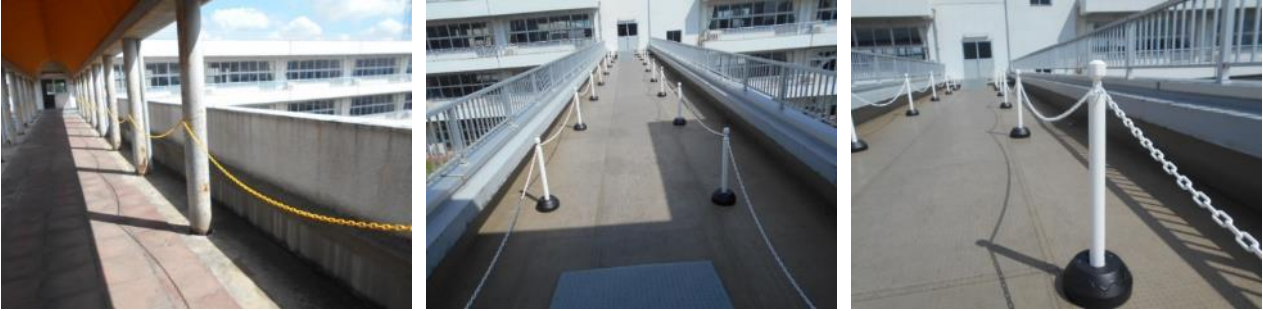
	実施日時・会場	協議内容
第4回	令和6年2月26日(月) 15:30～16:30(予定) 壬生中学校会議室・各教室	・学校関係者評価委員会 ・学校評価アンケートの考察 ・次年度の教育計画検討等 令和6年3月9日(土)卒業式来賓参加依頼予定

【閉 会】



(1) 校内巡回（学校保健安全法施行規則に基づく安全点検）

ア 校舎3階渡り廊下の安全対策（飛び降り防止）



イ 「不審者侵入の防止の3段階のチェック体制」の強化

令和5年3月、埼玉県内において、刃物を持った少年が学校に侵入し、職員に対して切り付ける事件が発生したことを受け、文部科学省において「不審者の侵入事案を受けた学校安全の確保に向けた対策について」（以下「文部科学省通知」）が発出された。

段階	本校における具体的対応
A 校門	正門・北門の閉門（8時に用務員が閉門。清掃後開門。） 来訪者向け案内板
B 校門から校舎への入り口	来訪者への案内・誘導・指示 通行場所の指定（構内車両は一方通行） 防犯カメラの設置
C 校舎への入り口	常時ドアを閉じる（施錠なし） 入口や受付の指定・明示 受付での来訪者の確認、名札の着用



(2) 壬生町部活動地域移行推進計画について

下野新聞記事 令和5年10月18日

壬生町部活動地域移行推進計画

系

「日部活動の会費は町負担と

会議では委員から「保護

への謝金などの予算化を進

3

壬生町部活動地域移行推進計画

壬生町部活動地域移行推進計画

秀 | テ間参らか

る。台の参加とどはのノオマ下前10も行おによほどち1ス夫際無ぼた伝

回は内地

(3) 新たな制服導入の進捗状況について

新たな制服導入に係る制服デザイン選定委員会 (第 1 回)

【議事録】

令和 5 年 11 月 14 日 (火) 18:30~20:00

壬生町立壬生中学校 図書室

1 ごあいさつ (学校長)

- ・令和 4 年度に校則見直しを行った。
- ・その過程で、新たな制服導入の必要性が高まった。
- ・プロセスを大切にしながらデザイン検討を行っていく。

2 自己紹介 (別添名簿参照)

3 生徒会役員代表による発表

「より良い制服デザインを考える ~第 1 回アンケート結果 (生徒・保護者) ~」

- ・別添資料をもとに、生徒会役員がプレゼンテーションを行った。

4 協議

「より良いデザイン選定に向けて」

ファシリテーター AKASHI S.U.C. 臼井様・吉野様

(1) 全体スケジュールの確認

- ・トータルコーディネートでの絞り込み
- ・素材の絞り込み
- ・エンブレムの公募、デジタル化
- ・付属品、ポロシャツ、セーター等の検討

(2) 今後の流れ

- ・第 2 回サンプル展示→第 2 回アンケートを実施→第 2 回デザイン選定委員会

(3) ジャケット素材

- ・素材は、価格やデザイン等とのバランスの上で、検討調整する必要あり。
- ・最終的に決定したボトムス等が高価な仕様の場合、保護者の負担が大きくなる可能性があるため、価格面とのバランスの上で素材を再検討する可能性がある。

(4) 第 1 回アンケート結果の詳細

- ・壬生中に由来のある 4 色を軸にデザインを検討する。
☞ 陽炎の赤、黒川の青、若草の緑、白亜の校舎の白
- ・近隣学校との差別化も図る必要性あり
- ・ボトムスの柄のピッチ (大きさ) は、小さめにする。
- ・ネクタイとリボンの自由選択

(5) 協議・質疑応答

<委員 A>

Q スラックスとスカートで柄のピッチ (大きさ) が異なっても大丈夫か。

A 大丈夫です。

<委員 B>

Q 価格の上限は

A 現行制服の価格を参考に最終調整する。

<委員C>

Q サンプルマネキンは、スカート丈が「膝がかくれる程度」を用意できるか。

A マネキンの仕様上、難しい。

<委員D>

Q 多様性への配慮として男女同形のジャケットを希望する方がいた場合、対応は可能か。

A 体型に配慮した制服を提案する必要がある。多様性への配慮は、当社のレインボーサポーター制度により対応する。（自認している性や意向に合わせて、メーカー・学校・家庭で個別に話し合い、個別オーダーで対応する。）

<委員E>

Q 全体スケジュールや決定する項目を「見える化」してもらえるとよい。

A 対応します。

<委員F>

Q サンプルは細身のデザインだが、サイズ大きめのサンプルは用意できるか。

A 用意は可能だが、多様なデザインと多様なサイズを用意することになり、展示が膨大になる。展示のわかりやすさの点で困難がある。

<委員G>

Q ポロシャツの検討の際は、かがんだときにボトムスから下着が見えないように。

A 対応します。



(4)校則の見直しについて

見直し案

1 教育目標「自ら考え学ぶ生徒」の実現のために**【学用品や持ち物について】**

- 携帯電話は、学校における教育活動に直接必要のない物であることから、持参しません。
ただし、登下校時の生命安全等、やむを得ない個別の状況に応じて、下記の一定の条件のもとで、持参を許可する場合があります。困ったことがあったら先生に相談しよう。
 - ア 校内では使用せず、登校後に担任へ一時的に預け、下校時に返却を受けること。
 - イ 登下校時にもルールやマナーを守り、適切に使用すること。
 - ウ フィルタリングの設定や携帯電話の正しい使い方に関する指導が、保護者の責任のもとで、適切に行われていること。